

橋本 五郎 講演会

プロフィール

現職 読売新聞特別編集委員

ノースアジア大学 総合政策学部教授

ノースアジア大学 教育諮問委員

履歴 秋田県山本郡琴丘町(現在の三種町)生

慶應義塾大学法学部卒業後、読売新聞へ入社。

入社後は、浜松支局の記者を皮切りに、読売新聞東京本社社会部記者、政治部記者、政治部次長、論説委員、政治部長、編集次局長を歴任。



「どうなる日本の政治」

開講日時▶7月12日(土) 午後1時30分～3時00分 (開場 午後1時00分)
会 場▶ノースアジア大学 経済学部棟3階 302教場

講演内容

与党が衆院で過半数を獲得できないという「少数与党政権」が発足して半年余りが過ぎました。自公政権は一部野党の協力なくして法案や予算案の可決は不可能とあって、与野党間に歩み寄りがみられ、「安倍一強体制」時代とは様変わりしました。一体、石破内閣はいつまで続くのか全く予断を許しません。一方、野党第一党の立憲民主党もこれまでの反対一辺倒の姿勢は変えざるを得ませんでした。

そうした中で、7月には参院選挙が予定されています。参院も自公の与党が過半数を割るようなことがあるのか。結果次第で、日本政治はさらに混迷を深めます。昨年11月の衆院選挙での国民の審判は国会をどう変えたのか、石破政権の基本戦略はどのようなものなのかも含めて、今後の日本政治について考えてみたいと思います。

今年1月にはアメリカではトランプ政権が発足しました。韓国では、ユン大統領による戒厳令宣布で大混乱の状況が続いています。ウクライナ戦争は終局の兆しが見えず、ガザ地区の悲惨な状態はまったく改善されていません。日本外交の真価は今こそ発揮されなければならないのですが、政権基盤の不安定さがそれを困難にしています。一体どうすればいいのかも含めてお話したいと思っています。